

平成23年12月 第378回定例会質問事項

一般質問 1日目 12月5日：(月) 午前

質問者	質問概要
川端(新生おおの)	<p>1 新年度の当初予算編成について</p> <p>新年度当初予算編成の基本方針を伺いたい。また、今年度予算の基本方針との相違点は何か。</p> <p>新年度予算編成を効率的に行うため、予算を執行する各部・課において、行政評価、費用対効果が必要と考えるが、各部、各課においてこうした取り組みは実施されているのか。</p> <p>毎年行われている事業等の補助金、助成金についてはどのように考えているのか、また単年で行われているものについてはどのように考えているのか。</p>
	<p>2 外部専門家活用事業について</p> <p>地域の実情に詳しい人材で、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材を「集落支援員」として委嘱する集落支援事業の取り組みが考えられないか。</p> <p>本年度よりの外部専門家(アドバイザー)活用事業を来年度も考えておられる「緑のふるさと協力隊」との協働で考えられないか。</p>
	<p>3 雇用対策について</p> <p>越前おおの雇用創造推進協議会が3年間の数値目標を超えたということは多大な成果があったものと思われるが、今までの事業数と受講者人数、今後の課題について伺う。</p> <p>この12月1日に厚生労働省の「地域雇用創造実現事業」の採択を受けた「越前おおの結客事業」について、越前おおの雇用創造推進協議会では、地域活性化と雇用機会の拡大にどのようにしてつなげていくのか。</p>
	<p>4 奥越ふれあい公園ナイター設備について</p> <p>奥越ふれあい公園の多目的グラウンドの野球用のナイター設備(照明灯4基)の進ちょく状況を伺う。</p> <p>多目的グラウンドのソフトボール1面についても来年度以降ナイター設備を設置する考えがあるのか。</p>
	<p>5 TPP交渉の参加について</p> <p>本市の基幹産業である農業は、農業者の所得確保がしっかり解決されない限り参加すべきでないと考えますが、市長に今一度本市の考え方を伺う。</p>
永田(新風おおの)	<p>1 第五次大野市総合計画と第六次大野市行政改革大綱等について</p> <p>当初予算ベースで過去10年の状況を比較すると、平成14年度から140億円台を推移し、平成21年度から急激な伸びを示して本年度は約178億円を超え、今後さらに伸びるところであるが、その後一気に緊縮予算となるリバウンドが懸念されるが、どのように考えるのか。</p> <p>副市長を総理として「総合施策会議」を立ち上げたとのことだが、第五次大野市総合計画のみならず、各施策、計画全般にわたり進行管理すると理解してよいのか。</p> <p>大野市職員の定員適正化計画では職員数の削減に主眼を置いているが、合併後の事務量の増大と安全・安心面や市民福祉の向上など事務事業の変化による定数の見直しがなされたのか。</p> <p>また、過度な事務量等に起因するストレス等で心身に支障を来すなどにより、休職や長期休暇にある職員がいるのか。</p> <p>市職員の定年制の延長があると聞くが、どのようになっているのか。</p> <p>また、職員の再任用制度は他市に比べてほとんど実施していないように見受けられるがどうか。</p>

一般質問 1日目 12月5日：(月) 午後

質問者	質問概要
浦井 (日本共産党・大野市議団)	<p>1 大野市・和泉村合併の検証について 新しいまちづくり計画の進捗状況はどうか。 合併特例債の使い方について</p>
	<p>2 市庁舎建設について 庁舎等周辺整備基本構想の基本理念について、住民の利便性を第1に考えた建物にすべきではないか。 平成4年に実施した老朽度調査では、本館1階、議場棟の耐震安全性に疑問があると指摘された。さらに平成7年度に市民課のオープンカウンターを実施し、壁をなくしたことは耐震性を著しく低下させたと言われている。なぜ早く耐震診断を実施し、耐震補強計画を立てなかったのか。 合併特例債の発行期限が5年延長された場合は庁舎建設計画をストップして現庁舎の耐震診断、耐震補強計画を作るべきではないか。</p>
	<p>3 雪害対策の見直しについて 昨年度の雪害から道路雪対策の見直しをすべきではないか。 屋根雪下ろし対策の見直しをすべきではないか。 消流雪用水等の水量確保に向けた対策をとるべきではないか。</p>
高岡 (双葉会)	<p>1 財政健全化について 財政健全化の取り組みについて、どのような基本理念を持っているのか。 財政健全化の取り組みについて具体策はどうか。 地方財政健全化推進法に照らし合わせて指標等はどうか。 また、今後の推移はどうか。 財政健全化推進の最大要因は何と考えるのか。</p>
	<p>2 商工業、企業育成について 管内の商工業、企業等の育成に関する基本姿勢はどうか。 短・中・長期的に考えている育成の取り組みについてどうか、その成果はどのようになるのか。 入札制度における1社1業種から1社多業種に移行した理由、目的、その成果はどうか。</p>
	<p>3 社会貢献活動団体等について 管内の社会貢献活動団体等の数はどうか。 昨今の活動状況はどうか。 行政としての接触、すなわち協働活動、協力要請、あるいは支援についてどうか、昨今の具体的な例はどうか。</p>

質問者	質問概要
山崎（新生おおの）	1 予算問題について
	<p>本市は、実質公債費比率は8.9%、将来負担比率は23.5%、住民1人当たりの債務は351千円と、県下9市の中でも良い財政状況にあると考えているが、下水道事業等の推進に伴う今後の財政状況の見通し及び対応策はどのように考えているのか。</p> <p>第五次大野市総合計画にも含まれるが、若者の生活基盤の安定や定住化を促進するため、どのような施策を行うのか。</p> <p>今の財政状況を堅持しながら市民一体化の市政を目指すには、透明度の高い市政運営が肝要であると思うが、そのために新たな機構等が必要ではないか。</p>
	2 中部縦貫自動車道の建設促進について
	<p>国土交通省の社会資本整備審議会道路分科会の事業評価部会で、中部縦貫自動車道を含んだ全国6カ所が議題に上がったと聞き及んだが、建設促進がより一層図られ、1日も早い全線開通に向けてどのような対策をするのか。</p>
3 教育問題について	
<p>六呂師小学校と阪谷小学校、森目小学校と富田小学校、今後は蕨生小学校が統合されるが、まだまだ児童減少傾向にある。中心市街地の空洞化傾向に伴う児童減少問題に対応策はあるのか。</p> <p>平成24年度から中学校の新学習指導要領が完全実施されると聞いているが、武道の必修に伴い施設、用具等の対応はどのように行うのか。</p>	
松田（新風おおの）	1 新・越前おおの型 食・農業・農村ビジョン改訂素案について <p>「越前おおの型農業」をどのように評価するのか、その効果と問題点の総括を伺う。</p> <p>農村集落カルテに基づく活性化のシステムの地域への浸透度や信頼性について、どう考え、どのように進めていくのか。</p> <p>多様な経営体の共生による農業の振興について</p> <p>農業生産額が200万円未満の生産者、3名以下の家族農業経営又は小規模農家や兼業農家が意欲的に農業に携わり収益を向上させていくために、どのような経営体が望ましいと考えるか。</p> <p>農業収益の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前おおの型農業は米のブランド化による収益向上を図ることが重要な戦略のひとつと考えるがいかがか。 ・有機農業や福井県特別栽培農産物認証制度の普及が進まないのはなぜか。 <p>農産物の総ブランド化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農業や福井県特別栽培認定農業の生産者数の5年後の目標をほぼ現状維持にした理由を伺う。 ・具体的施策に福井県特別栽培農産物認証の推進を入れない理由を伺う。 ・“越前おおの里の恵み認証制度”の登録者数の9人はどう評価するのか。 ・環境調和型農業と生物多様性は密接に関係し、生物多様性はブランド創造に貢献すると思うが、どう取り組んだのか。 ・その評価を数値で示すとすればどのようなになるのか。新ビジョンの具体的な施策に入れないのはなぜか。

<p>松田（新風おおの）</p>	<p>2 大野の城資源の活用について</p> <p>「おおのの戦略的な観光の推進」事業として推進することについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築城430年祭の Momentum に加え、城資源を生かした魅力作りと観光強化を図れないか。そのための地域ぐるみの調査研究活動を「おおのの戦略的な観光の推進」事業に組み入れられないか。 ・大野市には南北朝から戦国時代にかけて13の城があるとされているが、これらをつなぎ付け本市本来の魅力創りに挑戦するとともに、第五次大野市総合計画にこのプロジェクトを組み込み、地域住民と共に勧めていけるよう検討されたい。 <p>犬山城について 犬山城を県指定の史跡のみならず、国の史跡に認定できるように申請すべきと考える がいかかがか。</p>
------------------	--

質問者	質問概要
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">梅林 (新風おおの)</p>	<p>1 財政面から見た大野市の水政策について 現在の下水道加入件数は、当初の下水道計画からみて財政的にどのように評価しているか。 福井県の90%を引き受けているダム・発電所立地自治体として、振興・発展のため、どのような支援を受けているか。 湧水文化再生に向けた地下水保全のための財源の確保を、今後、どのような具体的な施策として展開していくのか。</p>
	<p>2 子どもを大切にすまちづくりについて 「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」を大野市の将来像とした第五次大野市総合計画の基本構想実現の一つの柱である「人が元気」になるため、特に子どもを大切にしている取り組みは。 保健医療福祉サービス拠点施設内に新しく設置される大野市地域子育て支援センターにおいて、子どもや母親、父親、家族等にどのようにサービスの充実を図っていくのか。 指定管理者の管理を予定する大野市児童デイサービスセンター内の「くれよん教室」と「ことばの教室」の運営体制及びセンターと保育園・幼稚園等との連携は。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">榮 (日本共産党・大野市議団)</p>	<p>1 大野市企業立地促進条例について 大野市が公有財産を売買したが、平成23年度の固定資産税2,800万円の課税はなぜできないのか。 評価額20億円の土地と建物を1億円で売却しているが、売買価格1億円は適当な価格であったのか。 異常な便宜供与に当たらないか。 旧ツヅキボウ福井(株)大野工場跡地である公有財産の売却は地方自治法何条による随意契約なのか。 議会を通して覚書を資料請求したが、個人情報保護を理由に提出されなかったが、個人情報部分を隠して提出できないか。 また、非開示理由に「今後の交渉等に支障が生じる可能性がある」とあるが、今後、誰と何の交渉を予定しているのか。 旧ツヅキボウ福井(株)大野工場跡地の売却に関しては、企業が競売に参加せず市が取得・売買したのは進出企業との裏約束があったのではないと思われる。競売以前から企業関係者又は仲介者がいたのではないか。 ここに利権及び贈賄はなかったか。 旧ツヅキボウ福井(株)大野工場跡地は平成21年7月31日福井地方裁判所担保不動産競売開始決定がされているが、それ以後、市にどのような企業の進出の問い合わせがあったのか。 調整池の設置は開発行為の基準に照らし合わせて必要と判断し、売主の責任を果たすことも含め受託したとあるが、都市計画上の県への申請はいつ行ったのか。 工場用地の敷地造成工事の残土は、大野市が土地賃貸借契約をした土地以外にも残土を保管しているのか。 大野市企業立地促進条例では誘致企業が撤退する場合の助成金返還条項が規則でも曖昧だと思うが明確にすべきでないか。</p>
	<p>2 農業と観光、食育三つの計画について 大野市の将来で大切な三つの計画を、素案を公開して意見募集として広報おおの12月号に掲載されているが、15日間で同時に三つ募集されても意見を提案することは困難であるが、三つの計画素案をずらして募集するなどの措置が取れなかったのか。</p>

一般質問 2日目 12月6日：(火) 午後

質問者	質問概要
石塚 (新風おおの)	<p>1 IT情報化対策について 庁内のコンピューターのウィルスやサイバー攻撃等に対するセキュリティ対策は。 大野市地域情報化計画は最終年度となっているが、評価と課題は。 新大野市地域情報化計画の策定の進捗状況とビジョンは。</p>
	<p>2 自転車道について 自転車道の整備について ・通学路の自転車道の整備状況と今後の計画は。 ・歩道通行可の規制基準が変わったとの報道があったが大野市内への影響は。 降雪・積雪・凍結時の自転車走行について ・事故防止対策等の市民への啓発は。</p>
	<p>3 予防接種について 定期接種・任意接種の予防接種の接種率は。 日本脳炎ワクチンの予防接種について、接種を差し控えた子どもの人数、現在の状況と今後の対策は。 ポリオ生ワクチンによる小児マヒなどの感染例の報道による接種率の低下が危惧されるが現状は。 インフルエンザワクチン接種の啓発は。</p>
兼井 (無会派)	<p>1 子どもたちの生きる力を「子ども大学」を作り育成してはどうか。 次世代育成支援対策推進行動計画(後期計画)越前おおの あったか・こそだて・夢プランが進められているが、進み具合はどうか。 現在の小学1年生が就職活動をする頃、大野市はどのような社会になっていると考えるか。今、何を伝えるべきと考えるか。 放課後子ども教室事業は文部科学大臣表彰を受けるほど素晴らしい成果を上げおり、参加児童は多くの気づきを得ていると思うが、地域の小中学生を対象に、地域及び地域にない分野の一流の人材からも気づきを得られる仕組み(例えば子ども大学)も必要ではないか。 市民が持つ個人的ネットワークや行政が持つネットワークはもちろんだが、スケールメリットを得るなら、勝山市と協力して奥越地域で取り組む仕組みを検討してはどうか。</p>
	<p>2 子どもの安全の確保について 一般の「大野市安全で安心なまちづくり推進大会」で、立正大学教授 小宮信夫氏の講演を聞いたが、「人」に注目する防犯ではなく「場所」に注目して犯罪を予測する「地域安全マップ」の作成を勧められたが、大野市の取り組み状況はどうか。</p>
	<p>3 越前おおの観光戦略プランの改訂について 越前おおの観光戦略プランに「観光客ニーズの把握」が書かれているが、その成果はいかがか。(観光振興を図るための諸施策推進に際しては、どのような人が訪れ、何を感じ、何を求めているのか等観光客の動向に関わるさまざまなデータ収集、分析が必要である。これまでもアンケート調査を実施しているが、次の戦略につながる情報収集や結果分析には及んでいない。行政と関係者が課題を共有し具体的施策を展開していくためには、吟味された内容で、多様な方法によるアンケート調査を実施し、観光客ニーズのさらなる把握が必要となる。) 新しい越前おおの観光戦略プランの素案にも同じような内容が書かれているが、新たに工夫した点は何か。 本年度又は昨年度に収集したアンケートの分析結果はどうだったか。 アンケートの回収件数目標はあったのか。</p>